平成28年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年２月５日

上場会社名　日本精機株式会社　上場取引所　東

コード番号　7287　URL　http://www.nippon-seiki.co.jp/

代表者　(役職名)代表取締役社長 社長執行役員　(氏名)高田 博俊

問合せ先責任者　(役職名)事業企画本部事業管理統括部 執行役員　(氏名)渡辺 桂三　(TEL) 0258(24)3311

四半期報告書提出予定日　平成28年２月12日　配当支払開始予定日　―

四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無

四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

１．平成28年３月期第３四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第３四半期	180,292	8.7	14,580	19.3	15,660	△19.4	9,049	△23.5
27年３月期第３四半期	165,922	4.7	12,219	△7.5	19,419	6.5	11,824	5.3

(注)　包括利益　28年３月期第３四半期　3,850百万円（△85.3%）27年３月期第３四半期　26,277百万円（ 9.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年３月期第３四半期	158.02	157.84
27年３月期第３四半期	206.44	206.23

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年３月期第３四半期	302,545	172,150	53.6
27年３月期	299,132	170,663	53.5

(参考) 自己資本　28年３月期第３四半期162,014百万円　27年３月期160,025百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年３月期	―	15.00	―	18.00	33.00
28年３月期	―	17.00	―		
28年３月期(予想)				15.00	32.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	5.7	18,000	9.5	19,500	△17.4	11,500	△20.5	200.80

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―　社（社名）　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（注）詳細は、添付資料P.３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期３Ｑ	60,907,599株	27年３月期	60,907,599株
②　期末自己株式数	28年３月期３Ｑ	3,640,200株	27年３月期	3,637,650株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期３Ｑ	57,269,968株	27年３月期３Ｑ	57,276,113株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …………2
（１）経営成績に関する説明 …………2
（２）財政状態に関する説明 …………2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …………2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …………3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …………3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …………3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …………3
３．四半期連結財務諸表 …………4
（１）四半期連結貸借対照表 …………4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …………6
四半期連結損益計算書 …………6
四半期連結包括利益計算書 …………7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …………8
（継続企業の前提に関する注記） …………8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …………8
（セグメント情報等） …………8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における経済環境は、日本国内では政府の金融政策を背景とした企業収益の改善が見られ、雇用情勢も改善が進み個人消費の緩やかな回復傾向が見られましたが、中国市場の景気減速の影響を受け東南アジアやインドなどの新興国の成長が鈍化しました。米国では雇用・所得環境の改善により景気回復基調は継続し、欧州も景気の底打ちが見られ回復基調になりましたが、原油・資源安の影響を受け、今後の回復に陰りが見え始めたこと等により、世界経済全体としては、予断を許さない状況となっていました。

このような状況において、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる企業体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化と同時に、営業・設計・経営管理など、あらゆる面でのグローバル化を目指し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう「経営のグローバル化」を推進してまいりました。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、180,292百万円（前年同期比8.7％増）、営業利益は、14,580百万円（前年同期比19.3％増）、経常利益は、15,660百万円（前年同期比19.4％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9,049百万円（前年同期比23.5％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器が増加し、売上高140,670百万円（前年同期比9.1％増）、営業利益13,168百万円（前年同期比24.4％増）となりました。

民生機器事業は、ＯＡ・情報機器操作パネル、アミューズメント向け基板ユニット等が増加し、売上高11,096百万円（前年同期比8.5％増）、営業損失442百万円（前年同期は327百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上高15,819百万円（前年同期比9.1％増）、営業利益607百万円（前年同期比261.2％増）となりました。

その他は、樹脂材料の販売等が増加し、売上高12,706百万円（前年同期比3.5％増）、営業利益は1,293百万円（前年同期比0.4％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,412百万円増加し、302,545百万円となりました。これは流動資産で現金及び預金が57,613百万円減少しましたが、投資その他の資産で長期預金が61,748百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,924百万円増加し、130,394百万円となりました。これは固定負債で長期借入金が3,161百万円減少ましたが、流動負債で支払手形及び買掛金が3,296百万円、短期借入金が1,928百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,487百万円増加し、172,150百万円となりました。これは為替換算調整勘定が5,115百万円減少ましたが、利益剰余金が7,047百万円増加したこと等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年３月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月６日発表の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年９月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第１四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第１四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項（４）、連結会計基準第44－５項（４）及び事業分離等会計基準第57－４項（４）に定める経過的な取扱いに従っており、第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第３四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	123,591	65,978
受取手形及び売掛金	40,997	41,629
有価証券	300	－
商品及び製品	14,127	14,462
仕掛品	4,936	4,786
原材料及び貯蔵品	19,373	18,653
その他	10,761	12,376
貸倒引当金	△230	△183
流動資産合計	213,859	157,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,125	15,253
機械装置及び運搬具（純額）	15,738	14,132
工具、器具及び備品（純額）	5,195	5,079
土地	16,103	15,909
リース資産（純額）	398	271
建設仮勘定	1,867	2,709
有形固定資産合計	55,429	53,355
無形固定資産		
のれん	89	10
その他	3,558	3,236
無形固定資産合計	3,647	3,247
投資その他の資産		
投資有価証券	23,095	23,254
長期預金	429	62,178
その他	2,681	2,818
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	26,196	88,240
固定資産合計	85,273	144,843
資産合計	299,132	302,545

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,655	33,952
短期借入金	58,361	60,290
未払法人税等	3,188	1,512
賞与引当金	1,913	2,061
役員賞与引当金	－	169
製品補償損失引当金	342	344
受注損失引当金	4	23
訴訟損失引当金	928	931
関係会社整理損失引当金	162	93
その他	13,225	14,590
流動負債合計	108,782	113,970
固定負債		
長期借入金	13,000	9,838
役員退職慰労引当金	206	213
退職給付に係る負債	2,766	2,760
資産除去債務	65	66
その他	3,649	3,543
固定負債合計	19,687	16,423
負債合計	128,469	130,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,476	6,473
利益剰余金	113,218	120,266
自己株式	△6,302	△6,313
株主資本合計	127,887	134,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,540	6,624
為替換算調整勘定	25,710	20,594
退職給付に係る調整累計額	△112	△126
その他の包括利益累計額合計	32,138	27,093
新株予約権	66	75
非支配株主持分	10,570	10,060
純資産合計	170,663	172,150
負債純資産合計	299,132	302,545

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年12月31日）
売上高	165,922	180,292
売上原価	132,637	142,698
売上総利益	33,285	37,593
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,924	3,952
従業員給料	7,635	8,818
貸倒引当金繰入額	1	1
賞与引当金繰入額	512	481
役員賞与引当金繰入額	161	166
製品補償損失引当金繰入額	12	43
退職給付費用	305	335
役員退職慰労引当金繰入額	28	30
その他	8,483	9,183
販売費及び一般管理費合計	21,066	23,013
営業利益	12,219	14,580
営業外収益		
受取利息	814	1,324
受取配当金	272	284
為替差益	5,988	－
その他	532	713
営業外収益合計	7,607	2,322
営業外費用		
支払利息	238	240
為替差損	－	957
その他	169	44
営業外費用合計	407	1,242
経常利益	19,419	15,660
特別利益		
固定資産売却益	9	77
特別利益合計	9	77
特別損失		
固定資産売却損	3	14
固定資産除却損	33	32
減損損失	84	－
投資有価証券評価損	0	－
特別損失合計	122	47
税金等調整前四半期純利益	19,306	15,691
法人税、住民税及び事業税	6,293	5,081
法人税等調整額	362	697
法人税等合計	6,656	5,778
四半期純利益	12,650	9,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	826	862
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,824	9,049

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年12月31日）
四半期純利益	12,650	9,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	317	84
為替換算調整勘定	13,298	△6,142
退職給付に係る調整額	10	△3
その他の包括利益合計	13,626	△6,061
四半期包括利益	26,277	3,850
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,035	4,005
非支配株主に係る四半期包括利益	1,242	△154

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)１	合計	調整額 (注)２	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)３
	自動車 及び 汎用計器 事業	民生機器 事業	自動車 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	128,915	10,230	14,505	153,651	12,271	165,922	―	165,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	―	―	51	51	9,899	9,951	△9,951	―
計	128,915	10,230	14,556	153,703	22,170	175,874	△9,951	165,922
セグメント利益又は損失(△)	10,581	△327	168	10,422	1,298	11,721	497	12,219

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機ＥＬ表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウエアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額497百万円は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成27年４月１日　至　平成27年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)１	合計	調整額 (注)２	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)３
	自動車 及び 汎用計器 事業	民生機器 事業	自動車 販売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	140,670	11,096	15,819	167,585	12,706	180,292	―	180,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	―	―	20	20	11,402	11,422	△11,422	―
計	140,670	11,096	15,839	167,605	24,108	191,714	△11,422	180,292
セグメント利益又は損失(△)	13,168	△442	607	13,333	1,293	14,627	△46	14,580

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機ＥＬ表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウエアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円は、セグメント間取引消去等であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。